

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【公開番号】特開 2011-39206 (P2011-39206A)
 【公開日】平成 23 年 2 月 24 日 (2011.2.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-008
 【出願番号】特願 2009-185284 (P2009-185284)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 7/08 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/08 A

H 0 4 N 5/232 A

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 7 日 (2012.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定の操作部材と、

特定の撮影条件の設定値をそれぞれ異なる設定方法で設定するための、少なくとも第 1 の設定モードと第 2 の設定モードとを含む複数の設定モードの中から、前記特定の操作部材とは異なる操作部材が操作されることに応じて任意の設定モードを選択する選択手段と

前記選択手段によって選択された設定モードが第 1 の設定モードである際に、前記特定の操作部材が操作されると、現在の設定モードを前記第 1 の設定モードから前記第 2 の設定モードに変更するとともに、前記特定の撮影条件の設定値を、前記特定の操作部材の操作量に応じて変更するように制御する制御手段と

を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記第 1 の設定モードは、前記特定の撮影条件の設定値を前記制御手段が設定する自動設定モードであり、前記第 2 の設定モードは前記特定の撮影条件の設定値をユーザが手動で設定する手動設定モードであることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

撮影準備指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段で撮影準備指示を受け付けた際に、現在の設定モードが前記第 1 の設定モードである場合には前記特定の撮影条件の設定値を自動的に設定し、現在の設定モードが前記第 2 の設定モードである場合には前記特定の撮影条件の設定値を変更しないように制御する撮影準備手段と

を更に有することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

撮影準備指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段で撮影準備指示を受け付けた際に、現在の設定モードが前記第 1 の設定モ

ードである場合には前記特定の撮影条件の設定値を自動的に設定し、現在の設定モードが前記第2の設定モードである場合には前記特定の撮影条件の設定値をユーザによって手動で設定された設定位置に基づいて設定するように制御する撮影準備手段とを更に有することを特徴とする請求項2に記載の撮像装置。

【請求項5】

現在の設定モードが前記第2の設定モードであり、かつ、該現在の設定モードが前記特定の操作部材の操作によって前記第1の設定モードから前記第2の設定モードに変更された設定モードである場合は、前記制御手段は前記特定の操作部材とは異なる操作部材が操作されることによって、該第2の設定モードに変更される前の設定モードに変更するように制御することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項6】

現在の設定モードが第1の設定モードである際に前記特定の操作部材が操作されると、該操作が行われる前の設定モードを記憶媒体に記録するように制御する記録制御手段を更に有し、

前記制御手段は、前記記憶媒体に記録された前記操作が行なわれる前の設定モードに基づいて、前記第2の設定モードに変更される前の設定モードに変更するように制御することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項7】

前記特定の操作部材の操作によって前記第1の設定モードから前記第2の設定モードに変更されたことに応じて、前記特定の操作部材とは異なる操作部材を操作することによって、該第2の設定モードに変更される前の設定モードに変更することが可能であることを表すガイダンスを表示手段に表示するように制御する表示制御手段を設けたことを特徴とする請求項5に記載の撮像装置。

【請求項8】

前記選択手段は、3以上の設定モードの中から、前記特定の操作部材とは異なる操作部材が操作されることに応じて任意の設定モードを選択することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項9】

前記特定の撮影条件はフォーカスに関する撮影条件であり、前記第1の設定モードはオートフォーカスを行う設定モードであり、前記第2の設定モードは、マニュアルフォーカスを行う設定モードであることを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項10】

前記特定の撮影条件はホワイトバランスに関する撮影条件とISO感度に関する撮影条件の少なくとも一方であることを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項11】

前記特定の操作部材は、レンズ鏡筒周りで回転する操作が可能な操作部材であることを特徴とする請求項1乃至10のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項12】

特定の操作部材、または前記特定の操作部材とは異なる操作部材が操作されることに応じて、特定の撮影条件の設定値をそれぞれ異なる設定方法で設定するための、少なくとも第1の設定モードと第2の設定モードとを含む複数の設定モードの中から、任意の設定モードを選択する選択工程と、

前記選択工程において選択されている設定モードが第1の設定モードである際に、前記特定の操作部材が操作されると、現在の設定モードを前記第1の設定モードから前記第2の設定モードに変更するとともに、前記特定の撮影条件の設定値を、前記特定の操作部材の操作量に応じて変更するように制御する制御工程とを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項13】

コンピュータを、請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるプログラム。

【請求項 14】

コンピュータを、請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかしながら、特許文献 1 では、マニュアルフォーカス設定時に花等の近接撮影を行うときの簡易 AF 調整としての利便性はあるものの、マニュアルフォーカスとオートフォーカスの設定を簡便に切り替えられない問題点があった。

本発明は前述の問題点に鑑み、特定の撮影条件の設定方法に関する設定モードを簡便に切り替えられ、かつその撮影条件の設定値の調整をすばやく行うことを可能とすることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、特定の撮影条件の設定方法に関する設定モードを簡便に切り替えられ、かつその撮影条件の設定値の調整をすばやく行うことを可能とすることができる。